

インフォメーション No. 3

愛する兄弟姉妹の皆さん、

アリッチャのディヴィン・マエストロ・ハウスに集う聖パウロ修道会総会出席者すべてから再度皆さんにあいさつを送ります。わたしたちは、今後の6年間の修道会の歩みを導く指針を立案するために、中央事務局のもとで、すでに数日にわたって密度の濃い作業に全力を注いでいます。

これまで、わたしたちは創立100周年を迎えるにあたってのわたしたちのアイデンティティーについて、また聖パウロ修道会の法規について考察をしてきました。この作業は、5月1日（土）から4日（火）まで続けられました。予定されていた作業の進行方法は、次のとおりです。8人ないしは9人からなる小グループで議論をし、パウロ会員であるための本質的諸要素と、今後わたしたちが向き合うことになる「挑戦」を明確にすること。その後、全体会議で各グループの代表者がグループ作業の実りを発表し、出席者すべてに発言の機会を与えること。最後に、第三の千年期の初めにあるパウロ会員のアイデンティティーについての草案文書を作成する委員を選出すること。最終的にこの文書が総会の公式宣言となるか、メッセージとなるか、勧告となるかは未定です。しかし、わたしたちは、この文書がわたしたちを未来へと大きく開くものとなり、まさに創造的忠実のうちになされる福音宣教の務めへとわたしたちを新たに駆り立てるものとなるように望んでいます。そして、委員会はすでに文書作成に取り組んでいます。

わたしたち総会出席者の間には、さまざまな憂慮と期待を共有し、分かち合いたいとの思いがあふれています。このため、中央事務局は、修道会のあらゆる分野における問題点について、全体会議で議論をする時間をとるのが適切であると判断しました。種々の発言に一定の秩序を与えるため、「4つの車輪」というアルベリオネの「古典的枠組み」に従うことになりました。すなわち、まず靈性と共同生活について、次に勉学と養成について、そして使徒職について、最後に清貧——人的、経済的資源の活用とその正しい運用と管理という意味での——について、意見や助言が出されました。

その後わたしたちは、再びグループに分かれて、今後6年間の総合目標を明確にする作業をおこなっています。ここから個々の分野の目標、優先課題、活動方針が生まれることとなります。5月6日（木）からは、総長とその顧問会の選挙のための識別が始まります。選挙は5月7日（金）の午前中に始まる予定です。

皆さんすべての絶え間ない祈りに感謝するとともに、これからなされる重大な選択にあたって師イエスがわたしたちを導いてくださるよう、あらためて皆さんの取り次ぎの祈りにわたしたち自身をゆだねたいと思います。

2010年5月5日、アリッチャ（ローマ）

インフォメーション担当：アントニオ・リッツォーロ神父